

千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例

に基づく許可申請についてのご案内

J p L・R E N（株）は、この度、柏市において、標記条例に基づきヤード事業を開始することと致しました。今後、地域の皆様に愛される会社となれるように努力してまいりますので、何卒、宜しく願いを申し上げます。

●ご案内の趣旨

J p L・R E N（株）は、特定再生資源屋外保管業の許可申請にあたり、千葉県に事前協議書を令和 7 年 2 月 1 8 日に提出しております。条例に基づき、住民の皆様方に事業の概要及び届出内容を周知させて頂くために、ホームページ及び事業場に簡易ながらこれらを掲示いたします。

●許可を受けようとする者の氏名

東京都大田区大森西 7-9-7-407

J p L・R E N（株） 代表取締役 林 任

T E L 0 8 0—1 0 6 4—9 2 0 6

●事業場所所在地、敷地面積、設備・構造

千葉県柏市布瀬字原地 1 5 番 1、1 5 番 2

敷地面積：2 5 1 6. 6 8 m²

構造及び設備：別紙のとおり

●事業の概要

取扱物品：H鋼・鉄筋・鉄骨・鉄スクラップ・鋼板・単管パイプ・アルミ建材(金属スクラップ)

被覆銅線・皮付銅管・ラジエーター・給湯器・電気メーター・トランス・ガスメーター・配電盤・基板・アルミタイヤ
(雑品スクラップ)

●その他

事業開始予定時期：許可後にH P 等にて報告します。

問合せ先：謝 志云 T E L 0 8 0—2 1 2 3—6 6 8 3

事業計画の概要

1 事業者の情報

(1) 事業者

JpL・REN 株式会社

代表取締役 林 任

住所：東京都大田区大森西 7-9-7-407 号

電話番号：携帯 080-1064-9206

(2) 現場責任者になる予定の者

1. 施設長 謝 志云

(携帯電話：080-2123-6683)

2. 代表取締役 林 任

(携帯電話：080-1064-9206)

2 事業場の情報

所在地：柏市布瀬字原地 15 番 1、15 番 2

敷地面積：(実測) 2516.68㎡

事業場内の建築物等：なし

詳細は、別紙図面のとおり。

3 事業の概要

(1) フローチャート(特定再生資源の収集から引き渡しまでの流れ)

別紙のとおり

4 取扱物品（特定再生資源の区分）

- ・ H鋼・鉄筋・鉄骨・鉄スクラップ・鋼板・単管パイプ・アルミ建材（金属スクラップ）
- ・ 被覆銅線・皮付銅管・ラジエーター・給湯器・電気メーター・トランス・ガスメーター・配電盤・基板・アルミタイヤ（雑品スクラップ）

5 保管の方法

(1) 保管の場所ごとの情報

保管の場所	位置	面積（実測）	特定再生資源の区分	保管の高さ（最高）
A	平面図のとおり	192㎡	雑品スクラップ	3m
B	平面図のとおり	352㎡	金属スクラップ	2.75m

C	平面図のとおり	5 5 m ²	金属スクラップ	1. 2 5 m
D	平面図のとおり	6 6 m ²	金属スクラップ	1. 5 m
E	平面図のとおり	3 8 5 m ²	金属スクラップ	2. 7 5 m
F	平面図のとおり	2 0 0 m ²	雑品スクラップ	2. 5 m
G	平面図のとおり	1 5 0 m ²	雑品スクラップ	2. 5 m
H	平面図のとおり	1 0 0 m ²	金属スクラップ	2. 5 m

詳細は、別紙のとおり。

(2) 保管の作業の方法及び手順

保管の場所ごとに、標準作業書のとおり。

(3) 積み上げる作業の用に供する機械の種類、数量及び能力

機械	機械の種類	使用するアタッチメント等 (フォークリフトの場合、最大揚高)	型式等
①	油圧ショベル	グラップル	住友社製 SH200LC-7
②	フォークリフト	最高揚高 3.5m	コマツ社製 FG25-17

詳細は、別紙のとおり。

6 破砕等の方法

(1) 破砕等の場所ごとの情報

破砕等の 場所	位置	面積（実測）	破砕等の種類	破砕等の方法（概要）
B～E、H	平面図のとおり	5(1)のとおり	切断	ガス溶断機による切断
I	平面図のとおり	60 m ²	解体	・手解体 ・剥線機による解体

詳細は、別紙のとおり。

(2) 破砕等の作業の方法及び手順

破砕等の場所ごとに、標準作業書のとおり。

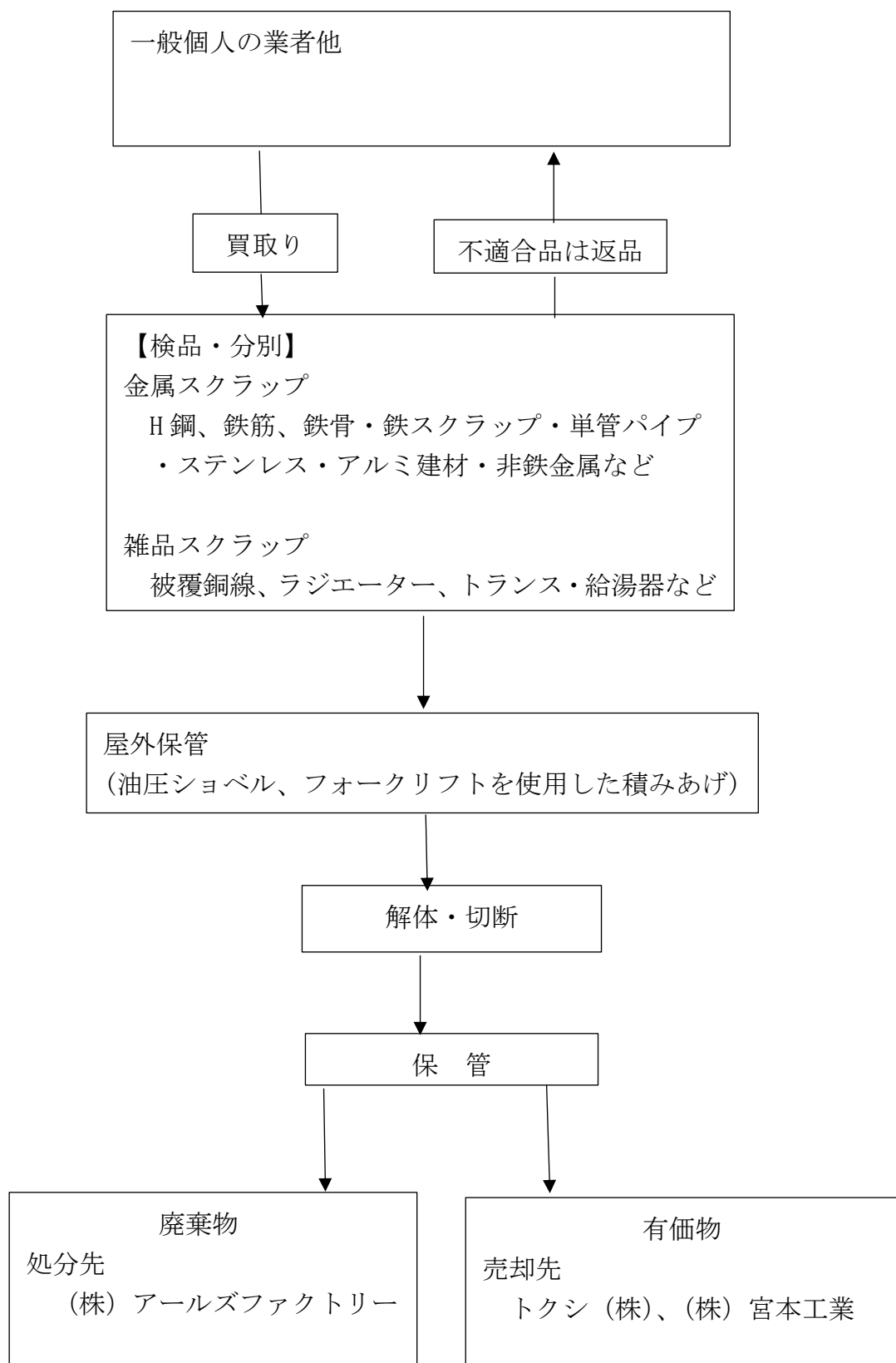
(3) 破砕等の用に供する設備の種類、数量、設置場所及び能力

設備	設備の種類	破砕等の種類	破砕等の場所	型式等
①	ガス溶断機	切断	B～E、H	
②	剥線機	解体	I	龍翔産業社製 SMS-38

詳細は、別紙のとおり。

別紙

1. フローチャート（特定再生資源の処理の流れ）



標準作業書

[特定再生資源屋外保管業]

この標準作業書は、特定再生資源屋外保管事業場内に常備し、従業者に周知を徹底するものとする。

外国人従業者についても、標準作業書の内容が分かるような翻訳版を用意し、作業の方法等を実際に示して確認させることによって、周知を徹底する。

JpL・REN 株式会社

令和 7 年 月 日

目 次

1	特定再生資源屋外保管業の標準作業	1
(1)	フローチャート（作業の流れ）	1
(2)	受取の作業の方法等	1
(3)	保管の作業の方法等	1
(4)	破碎等の作業の方法等	3
(5)	引渡し of 作業の方法等	4
2	特定再生資源屋外保管事業場の維持に関する計画	4
(1)	維持管理計画	4
(2)	囲いの維持管理の方法	5
(3)	底面舗装の維持管理の方法	5
(4)	油水分離装置の維持管理の方法	6
(5)	排水溝の維持管理の方法	6
(6)	集水枡の維持管理の方法	6
(7)	雨水浸透枡の維持管理の方法	6
(8)	重機の点検整備の方法	6
(9)	剥線機の点検整備の方法	7
(10)	ガス溶接機の点検整備の方法	7
(11)	標識の維持管理の方法	7
3	適正実施のための措置	7
(1)	作業全般に係る遵守事項	7
(2)	火災予防上の措置	7
(3)	汚水対策の措置	8
(4)	従業員の教育	8
(5)	廃棄物の処理	9
(6)	その他の措置	9
4	事故時の措置	9
(1)	事故等の対応	9
(2)	連絡通報表	10
5	事業場の平面図	10

別紙

・	フローチャート	11
・	事業場の平面図	12

1 特定再生資源屋外保管業の標準作業

(1) フローチャート（作業の流れ）

別紙のとおり。

(2) 受取の作業の方法等

ア 作業手順

- ① 事業場入口の台貫及び計量器で重量を計量する。
- ② 取り扱うことができる物品以外のものを誤って受け取らないため、必ず受取時に検査を行う。
受取時の検査は、原則として従業者の目視確認により行う。
内容物が一見して分からない雑品スクラップの場合は、車上検査を実施する。
- ③ 所定の保管の場所に移動し、荷卸しを行う。
- ④ 取引台帳に、受取の都度、取引の内容を記録する。

イ 注意事項

受取の作業に当たっては、以下の点に注意する。

- ・ 所定の作業時間以外には、受取作業は行わない。
- ・ 目視確認、展開検査によって電池、バッテリー等の火災発生の原因となる物品を確認したときは、返品する。
- ・ 保管の高さ等の基準を超過する可能性がある場合には、受取をしない。
- ・ 取り扱うことができない物品については、受取を拒否し、持ち帰らせる。
- ・ 油付着、付着のおそれがある金属は受け取らない。

(3) 保管の作業の方法等

ア 共通事項

保管の作業に当たっては、以下の点に注意する。

- ・ 所定の作業時間以外には、保管の作業は行わない。
- ・ 所定の保管の場所以外では、保管物の保管は行わない。
- ・ 保管の場所ごとに定めた保管区分及び保管方法を遵守して保管をする。

イ 保管の場所（一覧）

保管の場所	位 置	面積（実測）	特定再生資源の区分	保管の高さ （最高）
A	平面図のとおり	1 9 2 m ²	雑品スクラップ	3 m
B	平面図のとおり	3 5 2 m ²	金属スクラップ	2 . 7 5 m
C	平面図のとおり	5 5 m ²	金属スクラップ	1 . 2 5 m
D	平面図のとおり	6 6 m ²	金属スクラップ	1 . 5 m

E	平面図のとおり	385 m ²	金属スクラップ	2.75 m
F	平面図のとおり	200 m ²	雑品スクラップ	2.5 m
G	平面図のとおり	150 m ²	雑品スクラップ	2.5 m
H	平面図のとおり	100 m ²	金属スクラップ	2.5 m

詳細は、別紙のとおり。

ウ 積み上げる作業の用に供する機械（一覧）

機械	機械の種類	使用するアタッチメント等 (フォークリフトの場合、最大揚高)	型式等
①	油圧ショベル	グラップル	住友社製 SH200LC-7
②	フォークリフト	最高揚高 3.5m	コマツ社製 FG25-17

エ 保管の場所ごとの作業手順及び生活環境の保全上の支障の発生の防止の方法

① 保管場所（A）

雑品スクラップ（被覆銅線・皮付き銅管）を隣の作業場所で切断機を使用して裸銅線としたものを、グラップル又はフォークリフトを使って積み上げる。油付着なし。作業時間は、騒音等を考慮し、午前8時より午後6時までとする。

② 保管場所（B）～（E）（H）

金属スクラップをグラップル又はフォークリフトを使って積み上げる。出荷は、グラップルを使ってトラックに積み込み搬出する。油の付着なし。各保管場所の高さ制限を遵守する。

作業時間は、騒音等を考慮し、午前8時より午後6時までとする。

③ 保管場所（F）（G）

雑品スクラップ（ラジエーター・電気メーター・ガスメーター・トランス・ボイラー・配電盤・基板・アルミタイヤ）をグラップル又はフォークリフトを使って積み上げる。

- ・油の付着なし。
- ・給湯器を保管するときには、樹脂製のパレットの上に置き、降雨対策としてシートを掛ける。
- ・ラジエーターは、冷却水が入っていないもののみ取り扱い、冷却水が入っているものは扱わない。
- ・トランスは、受取時にPCB汚染のないことを確認する。汚染の可能性が否定できない場合は受け取らない。

- ・ボイラーは、アスベスト含有保温材、対価被覆材、断熱材等が使用されていないか確認することとし、アスベストが含まれている可能性のあるものは受け取らない。
- ・基盤・配電盤は、下に不浸透性の容器を設置する等して、遮光対策・雨水対策としてシートを掛ける等を行う。
- ・出荷は、グラップルを使ってトラックに積み込み搬出する。油の付着したものは扱わない。
- ・作業時間は、騒音等を考慮し、午前8時より午後6時までとする。

(4) 破碎等の作業の方法等

ア 共通事項

破碎等の作業に当たっては、以下の点に注意する。

- ・ 所定の作業時間以外には、破碎等の作業は行わない。
- ・ 所定の破碎等の場所以外では、破碎等の作業は行わない。
- ・ 破碎等の場所ごとに定めた破碎等の作業方法を遵守して破碎等をする。

イ 破碎等の場所（一覧）

破碎等の場所	位置	面積（実測）	破碎等の種類	破碎等の方法（概要）
B～E、H	平面図のとおり	1(3)エ 参照	切断	ガス溶断機による切断
I	平面図のとおり	60 m ²	解体	・手解体 ・剥線機による解体

ウ 破碎等の用に供する設備（一覧）

設備	設備の種類	破碎等の種類	破碎等の場所	型式等
①	ガス溶断機	切断	B～E、H	
②	剥線機	解体	I	龍翔産業社製 SMS-38

エ 破碎等の場所ごとの作業手順及び生活環境の保全上の支障の発生の防止の方法

(i) 破碎等の場所B～E、H

① 破碎等の種類

切断

- ・ ガス溶断機を使用して鉄スクラップや鉄についている非鉄金属を切り分ける。

② 破碎等の作業の具体的な方法及び手順

作業時間：8時～18時

作業の前に行う処理

- ・荷下ろし前に荷物の確認を行う(不適合品の確認)
- ・処理前保管場所にトラックからグラップルを使って荷下ろしする。
- ・ボンベ及び切断器具のガス漏れの点検を行い、問題があれば部品の交換をする。

作業するときには必ず保護メガネを付け、初期消火のために水を入れたバケツを横に置き、火災予防や安全を十分に確認して実施する。

(ii) 破砕等の場所 I

① 破砕等の種類

解体

- ・被覆銅線・皮付き銅管の皮を剥ぐ。剥いだ被覆部分は廃棄物置き場で保管し処理する。剥いだ銅線は、所定の保管場所で保管する。

② 破砕等の作業の具体的な方法及び手順

作業時間：8時～18時

作業の前に行う処理

- ・荷下ろし前に荷物の確認を行う(不適合品の確認)
- ・処理前保管場所に荷下ろし
- ・荷下ろし後に荷物の確認を行う(不適合品の確認)

被覆材を剥ぐときに発生する騒音、臭気に注意し、何か問題があれば機械を停止し、点検を行い、必要があれば部品の交換等の必要な処置をする。

処理後は、電線は所定の保管場所へ保管する。又被覆部分は廃棄物置き場で保管し廃棄物として処理する。

(5) 引渡し作業の方法等

ア 作業手順

- ② 所定の保管の場所に移動し、積込みを行う。
- ③ 事業場入口の台貫で重量を計量する。
- ④ 取引台帳に、引渡しの都度、取引の内容を記録する。

イ 注意事項

引渡し作業に当たっては、以下の点に注意する。

- ・ 所定の作業時間以外には、引渡し作業は行わない。
- ・ 引渡し先も、再生資源の屋外保管を行う事業者である場合は、県条例その他の条例等に基づく許可等を有する事業者であることを確認して、取引を行う。

2 特定再生資源屋外保管事業場の維持に関する計画

(1) 維持管理計画

	点検箇所・ポイント	点検時期(頻度)	維持管理の方法
囲い	①変形又は破損	毎日	①補修(→補強工事等)

		(始業時・終業時)	保管物の移動
底面鋼板・舗装	①ひび割れ ②鋼板の隙間 ③油膜	①②毎日 (始業時・終業時) ③随時	①②補修 ③油膜の拭取り
油水分離装置	①槽内の油 ②槽内の汚泥・堆積物 ③降雨予想時の確認	①随時 ②毎週（月曜日） ③降雨予想時	① 回収→廃棄物として処理 ②汚泥・堆積物の除去 ③槽内の確認、適宜回収
排水溝	①破損等 ②ごみ・異物	① 毎週（月曜日） ②随時	①補修 ② 撤去・清掃
集水枡	① 破損等 ② ごみ・異物 ③ 水質	① 毎週（月曜日） ② 随時 ③ 年1回（6月）	① 補修 ② 撤去・清掃 ③ 検査
雨水浸透枡	① 破損等 ② ごみ・異物	① 毎週（月曜日） ② 随時	① 補修 ②撤去・清掃
フォークリフト	① 破損等	① 毎日作業開始前	① 補修 ② 部品交換
油圧ショベル	① 破損等	① 毎日作業開始前	① 補修 ② 部品交換
剥線機	① 破損等	① 毎日作業開始前	① 応急措置 →補修
溶断機	① ガス漏れ	① 随時	② 補修・交換
標識	① 破損等	毎週（月曜日）	① 補修

（２）囲いの維持管理の方法

- ・毎日、始業時及び終業時に、異常がないことを目視で点検する。
- ・囲いに変形又は破損が認められたときは、直ちに応急の補修を行う。このとき、崩落の危険がある場合には、直ちに当該囲いに荷重がかかる保管物を崩落の危険がないよう荷重がかからない位置まで移動させる。
- ・囲いの補強工事等を行う場合は、事業場の構造の変更に該当することがあるため、直ちに県に報告し、確認を受けてから施工する。

（３）底面鋼板・舗装の維持管理の方法

- ・毎日、始業時及び終業時に、異常がないことを目視で点検する。
- ・油膜が底面に溜まっていることを確認したときは、できるだけ水で流すことなく、随時、拭取りにより清掃する。

- ・底面鉄板・舗装に破損等（コンクリートのひび割れ、鋼板の破断、鋼板溶接部の隙間の発生など）が認められたときは、直ちに応急の補修を行う。

（４）油水分離装置の維持管理の方法

- ・油水分離槽の構造は、コンクリート造り。
- ・油水分離装置の各槽の上には、物を置かない。
- ・各槽には、吸着マットを浮かべ、浮遊油を除去する。
- ・（１）の計画に基づいて、定期的な点検を行う。点検は、各槽の蓋を開け、目視で油の状況を確認することにより行う。
- ・各槽の状況に応じて、随時、吸着マットの交換や、ひしゃくでの汲取り等により、各槽内の油を回収し、廃棄物（廃油）として適正に処理する。
- ・定期的に、各槽内に溜まった汚泥・堆積物を除去する。
- ・天気予報により降雨が予想されるときは、事前に各槽内を確認し、流入量の増加によって、溜まっている油等が場外に溢れないように、通常の点検スケジュールにかかわらず、あらかじめ、油の回収や、汚泥・堆積物の除去を行う。

（５）排水溝の維持管理の方法

- ・（１）の計画に基づいて、定期的な点検を行う。
- ・排水溝に破損等が認められたときは、直ちに応急の補修を行う。
- ・ごみや異物によって排水溝のつまりが生じていないか、随時、目視で確認する。ごみや異物がある場合、その都度、撤去・清掃を行う。

（６）集水枡

- ・（１）の計画に基づき定期的な点検を行う。
- ・集水枡に異常があれば直ちに応急補修する。異物やごみがあれば直ちに除去する。
- ・集水枡に集められた雨水は浸透枡にパイプを通して流す。

（７）雨水浸透枡

- ・（１）の計画に基づき定期的な点検を行う。
- ・浸透枡に異常があれば直ちに応急補修をする。異物やごみがあれば直ちに除去する。水質検査において異常があれば直ちに改善する。
- ・台貫内の雨水はパイプで浸透枡に流し地下浸透による排水を行う。

（８）重機の点検整備の方法

① 油圧ショベル

- ・（１）の計画に基づいて、定期的な点検を行う。
- ・日常点検 始業時にエンジンの確認や可動部の異物確認等の重機点検表に基づき毎日自主点検実施。

② フォークリフト

- ・(1)の計画に基づいて、定期的な点検を行う。
- ・日常点検 始業時にエンジンの確認やタイヤの確認等の重機点検表に基づき毎日自主点検実施。

(9) 剥線機の点検整備の方法

- ・(1)の計画に基づいて、定期的な点検を行う。
- ・日常点検 始業時に可動部の異物確認や作動油の確認等の切断機点検表に基づき毎日自主点検を行う。

(10) ガス溶断機の点検整備の方法

- ・(1)の計画に基づいて、定期的な点検を行う。
- ・作業前にボンベ及び器具のガス漏れのチェックを行う。漏れていたら補修又は部品の交換を行う。

(11) 標識の維持管理の方法

- ・標識に汚損、破損等がないか、定期的に目視で点検する。
- ・汚損、破損等により、記載事項が判読できなくなりそうときは、速やかに補修するか、作り直しを手配する。
- ・標識の記載事項に変更があるときは、県への必要な手続を行った後で、速やかに書換えを行う。

3 適正実施のための措置

(1) 作業全般に係る遵守事項

作業に当たっては、以下の事項を遵守する。

- ・事業計画において定めた保管の場所及び破砕等の場所以外で、保管及び破砕等の作業を行わない。
- ・この標準作業書に定めのない作業方法を取らないこと。特に、高所から保管物を落下させて破砕するなど、囲いや底面舗装に強い衝撃を与え、また、著しい騒音・振動を発生させるような危険な作業は行わない。
- ・作業時間は、8時から18時までとする。また、日曜日・祝日は、全ての作業を行わない。
- ・上記の時間帯にかかわらず、保管の作業に用いる重機等や、破砕機等については、稼働時間ができるだけ短時間になるよう、効率の良い作業計画の作成に努める。
- ・現場責任者が事業場を不在にしている時間は、全ての作業を行わない。

(2) 火災予防上の措置

ア 危険物への対応

① 貯蔵・取扱いをする危険物の品名

- ・作動油 200リッターのドラム缶に保管する。
- ・廃油（ギヤー油、シリンダー油等） 200リッターのドラム缶に保管

②管理者の選任

次のとおり、危険物の取扱いに関する管理者を選任する。

危険物管理責任者：謝 志云

③消火設備の配置等

配置図のとおり2か所に10型2本を配置する。

④危険物の貯蔵及び取扱い

事業に使用する燃料、回収した廃油等は、消防法及び柏市火災予防条例に従い、貯蔵及び取扱いを行う。

イ 指定可燃物への対応

① 貯蔵・取扱いをする指定可燃物の品名

- ・合成樹脂類(タイヤ)

② 柏市火災予防条例への対応

事業場内の指定可燃物(タイヤ)については、柏市火災予防条例の指定可燃物の貯蔵及び取扱いの技術上の基準等に従って、貯蔵及び取扱いを行う。

ウ 高圧ガス保安法への対応

プロパンガスと酸素を使用して溶接・溶断作業を行うに当たっては、高圧ガス保安法の貯蔵方法に係る技術上の基準及びその他消費に係る技術上の基準に従って、貯蔵及び消費を行う。

エ 労働安全衛生法への対応

次のとおり、作業主任者を選任する。

作業主任者：謝 志云

オ 火災発生時の対応

「4 事故時の措置」に基づいて、適切に対応する。

(3) 汚水対策の措置

汚水が生じる作業工程にあつては、必ずこの標準作業書に定める作業方法を取り、設備の維持管理をすることに加え、以下の事項を遵守する。

- ・現に事業場外への排水に油等の浮遊や、著しい濁り、着色等の異常が認められるような場合には、直ちに水を使用する作業を中止し、県に報告する。

また、原因を特定するため、自主的に水質検査を実施し、県に報告するとともに、有効な対策が講じられるまで、水を使用する作業を再開しない。

(4) 従業員の教育

ア 標準作業書に基づく教育

- ・この標準作業書に基づいて、アルバイトを含めた全従業員に必要な教育を行う。
- ・現場責任者については、この標準作業書の内容を全て説明できる程度の理解が求められるため、特に重点的に教育を行い、定期的な理解度の確認を実施する。

イ 訓練の実施

- ・アルバイトを含めた全従業員を参加させ、定期的（毎月）に次の内容の訓練を実施し、その結果を記録する。
 - ① 標準作業書に基づく各作業の方法の確認
 - ② 異常が発生したときの情報伝達の訓練、緊急時の通報体制の確認
 - ③ 危険物（ギヤー油、廃油）、高圧ガス等の取扱方法の確認
 - ④ 地域住民等 から苦情、要望等の申入れがあったときの対応方法の確認

ウ 多言語対応

- ・外国人従業員についても、この標準作業書や事業場内の掲示等の意味を正しく把握できるよう、必要に応じて外国語を併記し、十分な教育を行う。

(5) 廃棄物の処理

事業活動に伴って発生した産業廃棄物については、廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物処理業の許可業者に委託して、適正に処理する。

① 産業廃棄物を一時的に保管する場所

配置図のとおり。

② 収集・運搬の委託先

委託先：（株）アールズファクトリー（許可番号：第 01200167352 号）

③ 中間処理の委託先

委託先：（株）アールズファクトリー（許可番号：第 11120167352 号）

④ 廃油の処分先

委託先：（株）アールズファクトリー（許可番号：第 11120167352 号）

(6) その他の措置

特になし

4 事故時の措置

(1) 事故等の対応

・緊急通報

火災が事業場で発生したときは、直ちに、消防（119）に通報する。

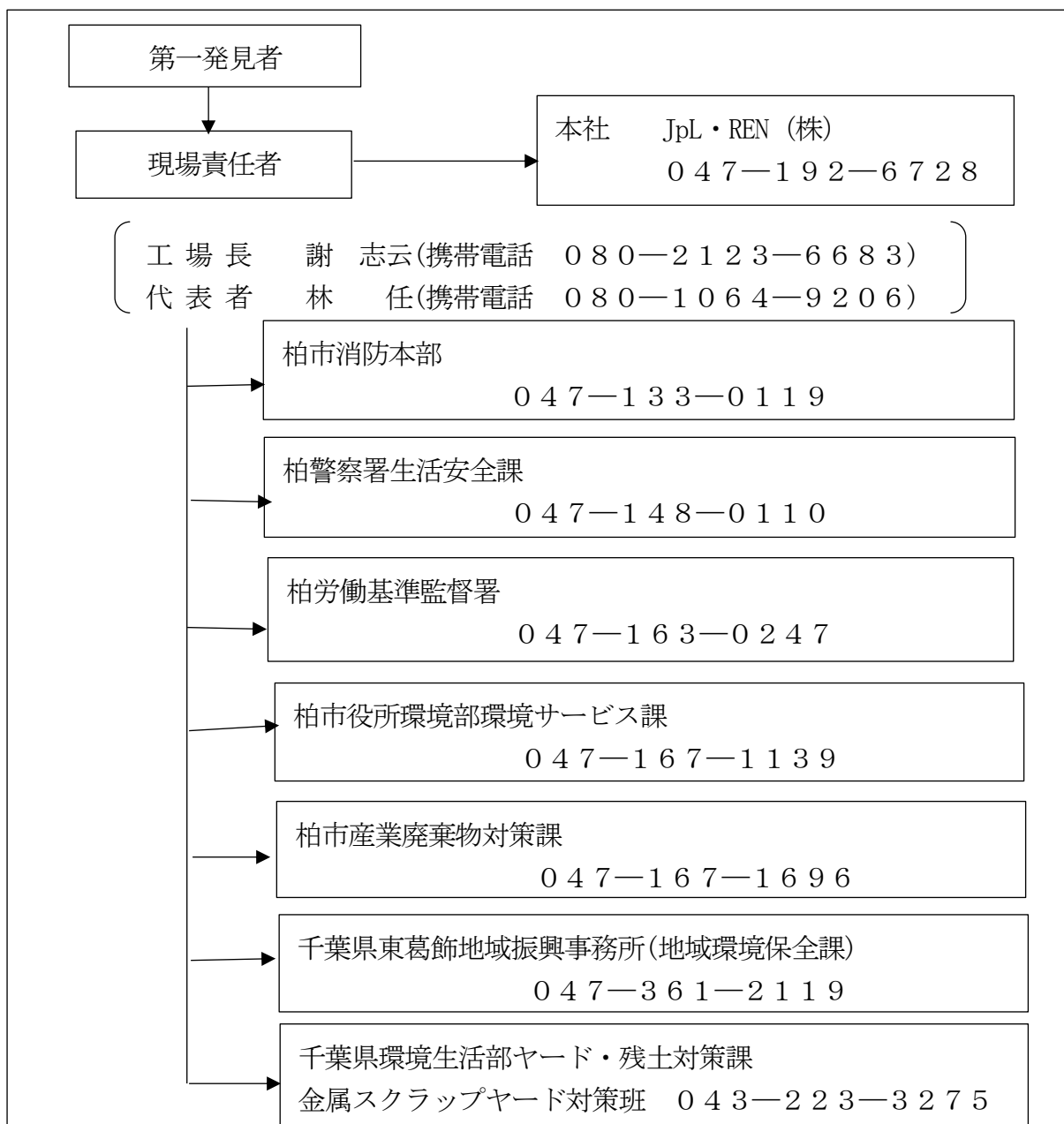
事故等で救急搬送が必要な負傷者が発生したときは、救急（119）に通報する。

・県への連絡等

火災を含む事故等が発生したときは、現場責任者から千葉県環境生活部ヤード・残土対策課金属スクラップヤード対策班（043-223-3275）に電話で状況報告をする。また、県から応急措置等の指示があった場合は、現場責任者を中心に適切な措置を講じる。

（２）連絡通報表

次に掲げる連絡通報表を事業場内の見やすい場所及び事務所に掲示する。

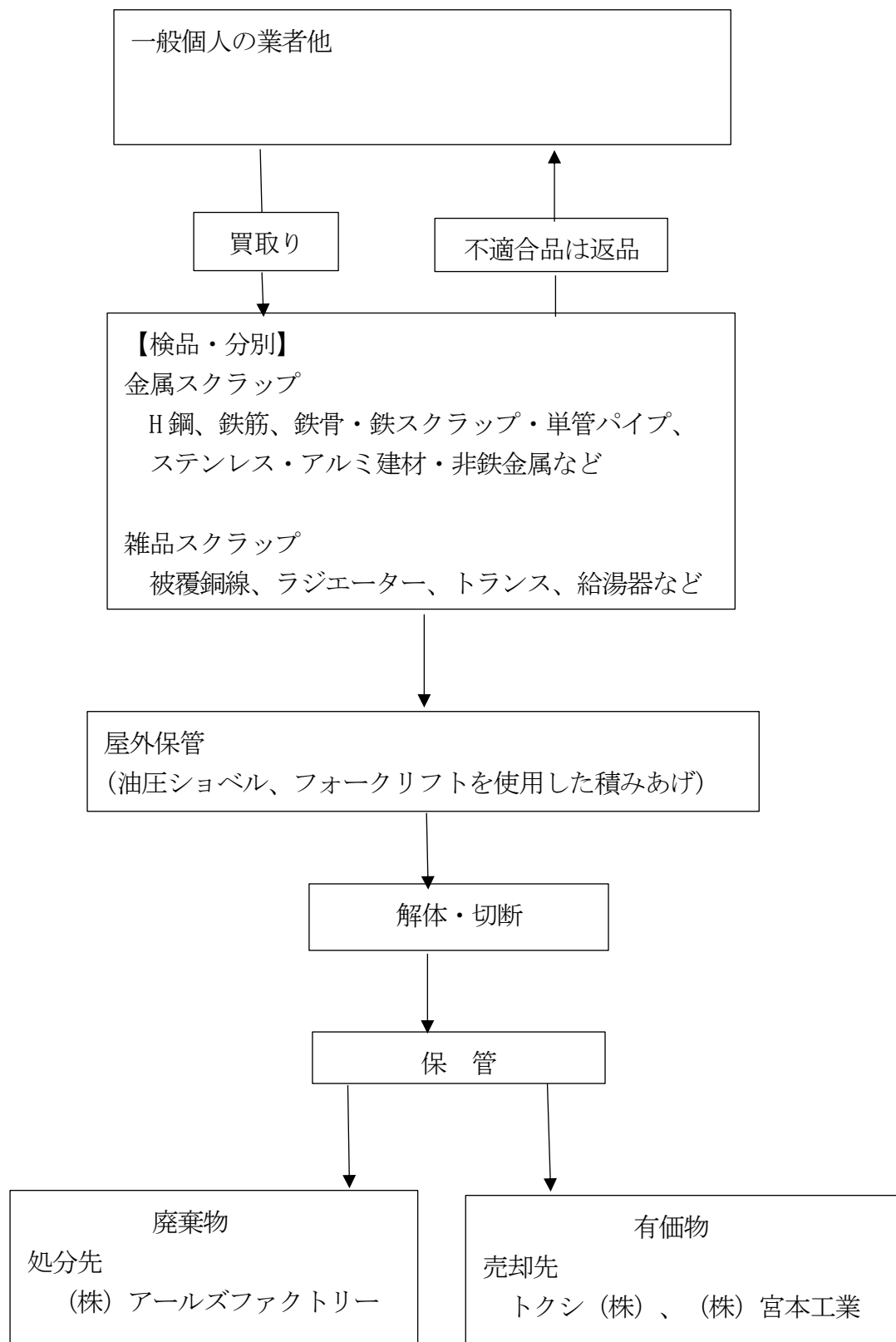


5 事業場の平面図

別紙のとおり

別紙

・フローチャート（特定再生資源の処理の流れ）



平 面 図

